

令和3年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立桐蔭中学校

学校長名： 笹井 晋吾

めざす学校像	自ら人生を切り拓く人を育てる学校
育てたい生徒像	改革への情熱と伝統を重んじる心を兼ね備えた生徒

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 キャリア教育を柱とした、多様な価値観を学び、国際的な視野に立って主体的に考え行動できる生徒を育てるための、中高一貫教育の充実・深化に向けた具体的な方策の確立
	2 基礎・基本の習得と思考力・表現力の育成及び主体的な学習態度を育成するための教員の更なる指導力向上
	3 キャリア教育と有機的に関連付けた道徳教育を充実
	4 生徒の自主的・自立的な生活習慣・学習習慣の確立と集団の自治力を育成する取組の充実

中期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 多様な価値観を学び、国際的な視野に立って主体的に考え行動できる生徒を育てるための教育を充実させる。 基礎・基本の習得と思考力・表現力の育成及び主体的な学習態度を育成する授業改善のための桐蔭FDを定着させる。 キャリア教育と有機的に関連づけた道徳教育を充実させる。 様々な課題を抱えている生徒への組織的な対応を推進し、組織的・体系的な活動を活性化させるとともに、生徒集団の自治力を高める取組の充実。
--------	---

学校評価の方法の公表の方法	保護者に対して自己評価及び学校関係者評価の結果を知らせるとともに、本校ホームページにおいても広く公表する。
---------------	---

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した。 (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価							
重点目標				令和3年度評価(月日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善方策
1	<p>コロナ禍のためキャリア桐の葉の校外学習や体験を伴う学習ができなかったが、各学年で創意工夫して、探究的な学習を行ってきた。</p> <p>県立学校の再編と係わり、本校の特色として、多様な価値観を学び国際的な視野に立って主体的に考え行動できる生徒を育てる取組を充実させる必要がある。</p> <p>新たな普通科のシステムを有機的に機能させるための合意形成を進めていく必要がある。その際には、系選択や難関大学への進学意識と努力する意欲を高めるための改善点を模索し、取組を模索する。</p>	<p>校外学習や体験を伴う学習がなくても、望ましい勤労観・職業観を育む探究的な学習が充実しているか。</p> <p>多様な価値観を学び国際的な視野に立って主体的に考え行動できる生徒を育てる取組が充実しているか。</p> <p>FD・キャリアの取組を核とした系選択や難関大学への進学意識とその実現に向けて努力する意欲を高める視点に立った中高一貫の具体的な検討が進んだか。</p> <p>混合クラスでの中高一貫生の課題と長所を分析し、中学校での指導に生かしているか。</p>	<p>「キャリア桐の葉Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の各プログラムを実施し、探究的な学びを通して、自らの在り方・生き方を主体的に考えさせる工夫をする。</p> <p>世界を舞台に活躍する社会人の話を聞くことで、自らの在り方や生き方を深く考えるプログラムや、世界の有名大学で学ぶ大学生・大学院生と協働的な活動を通して、英語力を高め、国際的視野を高めるプログラムを生徒・保護者へ周知する。</p> <p>中高の教職員による情報・意見交流や公開授業による課題意識を共有し、系選択や難関大学への進学意識を高める視点に立ち、中学校段階で生徒に指導すべきことを明確にする。</p>	<p>事後学習の充実度及び単元末振り返りシートの結果</p> <p>各種プログラムへの生徒の参加状況と、プログラム参加後の生徒の意識・行動等の状況把握</p> <p>FD・キャリア会議等での情報・意見交流会の実施</p> <p>お互いの公開授業の実施・見学状況</p> <p>生徒指導に係る情報交換会の実施状況</p>	<p>人生設計、企業と連携した取り組みなど、探究的な学びを充実させ、自らの在り方・生き方を主体的に考えさせる工夫ができた。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大のため実現できなかったが、世界を舞台に活躍する社会人や、世界の有名大学で学ぶ大学生・大学院生から学ぶプログラムを生徒・保護者に周知することができた。</p> <p>授業や生徒指導に係る交流は十分に行うことができなかった。</p>	B	<p>コロナ禍の中で新たに進めてきた人生設計、企業と連携などの探究的な学びを、継続、定着させる必要がある。そのため職員での情報共有と指導の充実に取り組んでいく。</p> <p>世界を舞台に活躍する社会人や、世界の有名大学で学ぶ大学生・大学院生から学ぶプログラムを引き続き周知し、実施していく。</p> <p>授業や生徒指導に係る交流の機会を計画的に実施していく必要がある。</p>
2	<p>基礎・基本の習得と思考力・表現力の育成を両立させる授業づくりを行ってきた。</p> <p>全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査において、全般的に正答率は高いが、質・量ともに家庭学習を充実させ、高い能力を有した生徒一人一人の学力を最大限に伸ばす指導を更に充実させる必要がある。そこで、主体的・対話的な活動を通して深い学びに至り、生徒が自発的に学習に取り組むための授業改善を進める。そのツールとしてクラウド学習の活用について研修を深める。</p>	<p>習得すべき基礎・基本を教師・生徒ともに把握し、思考力や表現力の伸長を目指した授業が各教科で展開されているか。</p> <p>主体的・対話的で深い学びに至る授業を行い、生徒が自発的に学習を進めているか。</p> <p>問題集やクラウド学習ツールを活用し、家庭学習の質・量ともに充実させているか。</p> <p>高い能力を有した生徒一人一人の個性と学力を伸ばす指導を学校全体で取り組んでいるか。</p>	<p>定期考査に桐蔭STの手法を生かし、到達目標を明確にして、迅速かつ適切にフィードバックする評価方法を充実させ、日々の授業の改善に生かす。</p> <p>学習活動の質を高め、効果的な指示・発問ができるよう授業改善のPDCAを有効に機能させる。</p> <p>問題集やクラウド学習ツール、オンライン学習を有効に活用し、自発的・主体的な学習に取り組むよう工夫する。</p> <p>生徒の発表や活躍の機会を内外に多く持ち、主体的に学習に取り組ませるよう工夫する。</p>	<p>定期考査毎にフィードバックする評価の実施状況</p> <p>フィードバックに基づく授業改善の実施状況</p> <p>学校評価に係るアンケートの結果分析の状況</p> <p>PDCAを有効に機能させた授業改善の実施状況</p> <p>問題集やクラウド学習ツール、オンライン学習を活用した自発的・主体的な学習の取組状況</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果分析の状況</p> <p>発表、対話、討論のある授業の実施状況</p> <p>各種発表会、コンクール等への出場・出品、入賞数</p>	<p>定期考査の学習状況、全国学調の生徒質問紙などを活用した授業改善に取り組むことができた。</p> <p>問題集やクラウド学習ツール、オンライン学習を進めるための授業の工夫を進めることができた。</p> <p>生徒の発表や活躍の機会を多く持ち、主体的に学習に取り組ませることができた。</p>	A	<p>次年度は県学習到達度調査が、全国学調と併せて、全学年で年2回の実施となり、定期考査と併せて、分析・改善の機会が増える。これを機により充実した学力向上推進プログラムを作成する。</p> <p>家庭学習の充実と発表や活躍の機会をオンラインも活用しながら多く持つことで、生徒が主体的に学習する雰囲気醸成する手応えを感じたため、更に研究を続けていく。</p>
3	<p>道徳ではキャリア桐の葉の授業と関連づけた指導が難しかったが、学年の実態に合わせた指導を行った。</p> <p>探究するキャリア教育の取組と、生徒の心を育む道徳を関連付け、充実を図る。</p>	<p>キャリア教育と関連付けた道徳の時間の授業を実践しているか。</p>	<p>キャリア桐の葉のプログラムと関連付けながら、道徳教育内容22項目の偏りのない指導を充実させる。</p>	<p>22項目を全て扱うことと、キャリア教育付けたい力30と道徳教育22項目の関連づけた指導の実施状況</p>	<p>22項目をバランス良く扱うことやキャリア桐の葉のプログラムと関連づける指導を、更に充実させる必要がある</p>	B	<p>コロナ禍でのキャリア桐の葉のプログラムと道徳22項目の教材を体系化して見直す必要がある。</p>
4	<p>生徒が抱える課題が複雑で、専門家の助言が必要なケースが多い。抱える課題が表出していない生徒でも、個に応じた適切な支援ができるよう、アンケート等を利用して現状把握と指導の改善に取り組む必要がある。また、生徒の発達段階を踏まえ、自立を促す取組を進める必要がある。</p> <p>生徒会活動や学級活動において、学校をより良くしたり、学校やクラスが抱える課題について考え、解決するための集団の自治力を高める必要がある。</p>	<p>課題を抱えた生徒に加えて課題が表出していない生徒の状況を把握し、早期対応・指導の充実のため、各種アンケートを有効に活用したり、ケース会議を行っていたか。</p> <p>生徒の自立を促し、積極性を育てるために、生活ノートを有効に活用したり、個人面談を行っているか。</p> <p>学級会、生徒会活動、専門委員会の組織を改善し、組織的かつ自主的な活動ができているか。</p>	<p>人権(いじめ)アンケート、QU、健康観アンケートを活用し、課題を抱えた生徒の早期発見に努める。</p> <p>アンケートの結果についてはスクールカウンセラー、教育相談主事等、専門家の助言を受け、教職員の理解を深め、生徒の自立を促す指導を充実させる。</p> <p>「5日間シート」を活用し、課題を抱えた生徒の状態を記録・共有し、指導に生かす。</p> <p>生徒の集団としての自治力を高め、組織的な取組ができるための体制を整える。</p> <p>専門委員会を月1回実施し、学校やクラスが抱える課題について考え、解決する取組を進める。</p>	<p>ケース会議の実施状況</p> <p>生活ノートの点検と機会を捉えた個人面談</p> <p>人権(いじめ)アンケートの実施状況と その後の生徒への働きかけの状況</p> <p>QU等の各種アンケートの実施状況とその後の生徒へ働きかけの状況</p> <p>組織的な取組が進められるよう生徒会の組織を改善できたか</p> <p>専門委員会を定期的実施し、学校やクラスが抱える課題を組織的に解決することができたか</p>	<p>人権アンケート、QU、健康観アンケート、5日間シート等を活用し、課題を抱えた生徒の早期発見に努め、スクールカウンセラー、教育相談主事等、専門家の助言を受け、教職員の理解を深めながら取り組むことができた。</p> <p>学校やクラスが抱える課題に組織的に取り組めるよう生徒会組織の改善案を作成した。</p>	B	<p>人権アンケート、QU、健康観アンケート、5日間シート等を活用し、スクールカウンセラー、教育相談主事等、専門家と連携した指導の充実に引き続き取り組んでいく。</p> <p>組織的に取り組めるよう改善した生徒会組織の改善案を生徒と共有し、生徒とともに取り組む機会を計画的に設定していく必要がある。</p>

学校関係者評価
令和4年3月21日実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p><生徒を伸ばす指導について></p> <p>①優秀な入学者が多いにもかかわらず、その潜在的能力を6年一貫教育で十分に開花させられていないのではないか。より一層の創意工夫の余地がある。</p> <p>②桐蔭中の生徒の中から、バカロレアなしは留学するような生徒を出すような目標を立てても良いのではないか。</p> <p>③「自らの在り方や生き方を深く考えるプログラム」(希望者3名)、「世界の有名大学で学ぶ大学生・大学院生から学ぶプログラム」(希望者27名)は本年度の重点目標1を視野に入れた素晴らしいプログラムだと思う。参加者が少ないのが残念だ。</p> <p><中高連携・一貫教育について></p> <p>④広い視野を入れての教育が行われていると思う。クラブ活動などで高校ともう少し連携を深めていけば良いのではと思う。</p> <p>⑤中高一貫校の利点を活かした活動にもっと取り組んではどうか。高校との連携(先生方も)が少ないように思う。</p> <p>⑥「中学と高校が協力しあって様々な教育活動に取り組んでいると思いますか。」の項目の評価が低いと思う。この項目は以前から低く、中高一貫の強みとなる所が活かせてないように感じる。大変かとは思いますが改善して頂きたいと思う。</p> <p><学力向上について></p> <p>⑦問題集やクラウド学習ツール、オンライン学習を活用し、生徒の自発的・主体的な学習を推進するための授業改善に教職員が取り組めたことが。結果として現れることを期待したいと思う。</p> <p>⑧「量・質ともに家庭学習を充実させ、高い能力を有した生徒一人一人の学力を最大限に伸ばす指導を更に充実させる必要がある」とあるが、学校の授業時間以外の勉強時間数の実態から考え、課題の改善につながるのだろうかと思う。</p> <p>⑨近畿2府4県の代表的中高一貫校(国公立校)の生徒達と、いくつかのテーマについてパネルディスカッション(オンライン)を実施すれば、自己の生き方や在り方について考える機会となるとともに、生徒の学習等への自主的・主体的な態度の育成につながるのではないかと思います。</p>